

3類型	農林水産物	通巻番号	6-19-028
地域資源名	ぶどう	認定日	平成19年12月7日
地域	岡山県真庭市	所管省庁	経済産業省、農林水産省、財務省

事業名：地域資源であるブドウ(ヤマブドウ及びピオーネ)を原料とするワイン、ジュース、ジャム等の開発及び販路開拓

会社名：ひるぜんワイン有限会社

所在地：岡山県真庭市蒜山西茅部709-1

連絡先：TEL:0867-66-4424

H P: <http://www.hiruzenwine.com>

FAX:0867-66-7017

事業概要(新たな活用の視点)

- ・古くから身体に良いと食されていた野生ヤマブドウを1987年から村おこし事業として栽培し、ワイン醸造を行ってきた。
- ・長年にわたる研究の結果、基本的な栽培技術を確立し、ワインコンクールで2年連続で入賞するなど、高い評価を得るまでになった。
- ・今後は、ヤマブドウを原料とする、ワインのブランド化、ワインピネガー・ドレッシングの商品開発を行うと同時に、「氷結ピオーネワイン」を商品化し、大都市圏への販路拡大を目指す。



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・ヤマブドウは稀少性が高く、蒜山産はアントシアニン・糖度など他産地より品質的に高いポテンシャルを有している。
- ・ヤマブドウ原料を総合的に商品化しているところは全国にない。また「氷結ワイン」は、国内での生産量が少なく、近々発売予定のピオーネの氷結ワインは日本初となる。

◆市場性

- ・ヤマブドウは一般ブドウに比べ栄養成分にも優れ、ポリフェノール・鉄分などが豊富に含まれ、アレルギー、炎症の抑制効果も高く、昨今の安全・健康志向に合致している。

◆販路

- ・みやげ物ではなく、高品質のワインとして、大都市圏のレストランや本物志向の消費者への直販体制を構築する。

地域資源における関係事業者との連携

- ・栽培方法や成分分析等における研究を岡山大学と共同で実施しているほか、一部商品の商品開発においても地域のメーカーと協力体制を構築している。
- ・毎年、ヤマブドウのPRのため「山ぶどう収穫祭・収穫体験」を地域の観光施設と共同で開催している。

